

<平成 29 年度第 4 回日本看護技術学会理事会議事録>

日時：平成 29 年 8 月 26 日（土）13：00～16：20

場所：聖路加国際大学 5 階 506 教室

出席者：理 事；武田 利明（理事長）

渡邊 順子、水戸 優子、大久保暢子、吉田 みつ子、藤井 徹也、篠崎 恵美子、

高橋 有里

監 事；小板橋 喜久代、三上 れつ

事務局；稲田 至朗(株)春恒社

欠席者：理 事；佐伯 由香、縄 秀志

（順不同、敬称略）

【議事録案の承認】

1. 平成 29 年度第 2 回（書面）、第 3 回（書面）理事会議事録案の承認
異議なく承認した。

【報告事項】

1. 庶務報告

平成 29 年 7 月 31 日現在の会員状況、第 6 期役員を確認した。高橋理事より以下報告があった。

これまで会員管理業務のみ(株)春恒社に委託していたが、今年度より、会計管理業務、受付・庶務業務、一般社団法人設立支援業務、会員マイページ維持管理業務、オンライン論文投稿・査読システム維持管理業務についても委託したことが報告された。

2. 平成 28 年度収支決算報告／会計監査報告

篠崎理事より平成 28 年度収支決算書について報告された。続いて小板橋監事より会計監査報告書が提示され、各位異議なく承認した。

3. 平成 29 年度委員会報告

1) 学会誌編集委員会

佐伯委員長欠席のため高橋理事が、第 6 期学会誌編集委員会委員を報告した。続いて投稿論文の公開状況および投稿・査読状況の報告を行った。

2) 研究活動推進委員会

水戸委員長より第 6 期学会誌編集委員会委員が報告された。続いて今年度の活動内容の説明を行った。

3) 技術研究成果検討委員会（看保連関係を含む）

大久保委員長より第 6 期技術研究成果検討委員会委員が報告された。続いて今年度の活動方針および各研究グループの活動計画と進捗状況、7 月 28 日の「背面開放座位療法」に対する厚生労働省からのヒアリングの説明を行った。本ヒアリングの議事録を理事会後に回覧する。

4) 広報委員会

藤井委員長より第6期広報委員会委員が報告された。続いて今年度の活動計画の説明を行った。

4. 第16回学術集会の準備状況

吉田みつ子第16回学術集会事務局よりプログラム、準備状況について報告された。会期は平成29年10月14日(土)～15日(日)、会場は日本赤十字看護大学で、前日に評議員会を開催する。

5. 第17回学術集会の準備状況

高橋理事より代理で準備状況について報告された。会期は平成30年9月8日(土)～9日(日)、会場は青森県立保健大学を予定している。

6. 日本看護系学会協議会

武田理事長より報告があった。平成29年6月28日に日本赤十字看護大学で会議が開催された。本協議会の概要について説明を行った。

7. 日本医療安全調査機構個別調査部会

武田理事長より報告があった。平成29年7月24日、日本医療安全調査機構の医療事故調査・支援センターより、事例番号C0037の個別調査部会における部会員の推薦依頼があり、評議員の中から佐々木新介先生(岡山県立大学 保健福祉学部看護学科准教授)を推薦した。

8. その他

特になし。

【検討事項】

1. 入退会審査

7月の入会申込者10件、退会届提出者7件が提示され、承認を行った。入会申込書では現在評議員署名が必要となっているが、評議員から正会員に変更することとした。

2. 平成30年度事業計画案

高橋理事より平成30年度事業計画案について説明があった。

1) 学会誌編集委員会

佐伯委員長欠席のため武田理事長より平成30年度の事業計画について説明がなされた。17巻1号から3号を電子ジャーナルとして発刊する。投稿規定を見直す。

2) 研究活動推進委員会

水戸委員長より平成30年度事業計画案が提示され、予算として500,000円が提示された。

3) 技術研究成果検討委員会

大久保委員長より平成30年度事業計画案提示され、予算として1,265,000円が提示された。

4) 広報委員会

藤井委員長より平成30年度事業計画案提示され、予算として1,000,000円が提示された。

5) 庶務

高橋理事より平成 30 年度事業計画案提示された。

各委員会の事業計画については異議なく承認された。庶務事業計画については一般社団法人化を 1 年前倒して、平成 30 年 4 月に法人化することで承認した。

3. 平成 29 年度修正予算案／平成 30 年度予算案

篠崎理事より平成 29 年度修正予算案が説明された。前期繰越収支差額を確定額とした以外に変更は無く、異議なく承認された。続いて平成 30 年度予算案の説明を行い、一般会計においては下記修正し承認した。

- ・技術研究成果検討委員会費支出 1,050,000 円 → 1,265,000 円
- ・広報委員会費支出 2,000,000 円 → 1,000,000 円
- ・学術基金特別会計繰入金支出 300,000 円 → 600,000 円
- ・法人化設立支援業務を事務局業務委託費と合算とする
事務局業務委託費 2,790,000 円 → 3,220,000 円
法人化設立支援業務 430,000 円 → 0 円 (科目削除)

今後の会計監査は公認会計士に会計帳簿および会計資料原本まで監査を行ってもらい、監事への監査は郵送にて行うこととした。また、法人化への対応として各委員会経費の出納は事務局が管理する。煩雑とならないように、経費精算の書式を事務局で作成することとした。

4. 投稿規定の改正について

武田理事長、高橋理事より投稿規定の改正およびカバーレターの説明がなされ、承認した。

旧	新
<p>2. 投稿論文の種類</p> <p>1) 受け付ける論文の種類は、論壇、総説、原著、研究報告、実践報告、短報、その他であり、それぞれの内容は下記のとおりである。</p> <p>・ 論 壇：看護技術に関わる問題や話題のうち、議論が交わされつつあるものについて今後の方向性を指し示すような著述や提言。</p> <p style="text-align: center;">中略</p> <p>・ 研究報告：<u>内容的に総説や原著論文には及ばないが、研究の視点が独創的で研究結果の意義が大きく、看護技術への示唆や看護技術の発展に寄与すると認められるもの。</u></p>	<p>2. 投稿論文の種類</p> <p>1) 受け付ける論文の種類は、論壇、総説、原著、実践報告、その他であり、それぞれの内容は下記のとおりである。</p> <p>・ 論 壇：看護技術に関わる問題や話題のうち、議論が交わされつつあるものについて今後の方向性を指し示すような著述や提言。<u>原則として、編集委員会からの依頼原稿とする。</u></p> <p style="text-align: center;">中略</p> <p>・ 実践報告：実践で得られた結果が看護技術の研究として有用であるもの。</p> <p>・ その他：<u>上記の種類に属さない論文で、短報（原著に準じた独創性があり、公表を急ぐも</u></p>

<p>・実践報告：実践で得られた結果が看護技術の研究として有用であるもの。</p> <p>・短 報：会員に早く知らせたい内容や、<u>看護技術の改良や提案に関するもの。</u></p> <p>・そ の 他：トピックス（看護学あるいは看護学の研究に関する話題，個人の意見，考え等）で編集委員会が適当と認めたもの。</p>	<p>の)，<u>研究手法やトピックス</u>（看護学あるいは看護学の研究に関する話題，個人の意見，考え等）で編集委員会が適当と認めたもの。なお，論文種は，最終的には編集委員会が決定する。</p>
<p>-----</p> <p>4. 投稿手続き</p> <p style="text-align: center;">中略</p> <p>3) 採用（受理）となった原稿は，編集委員会が別途提示する様式で印刷原稿として整え，編集委員長宛に提出する。</p> <p>4) 原稿は封筒の表に「日本看護技術学会誌原稿」と朱書し，下記に書留郵送する。</p> <p style="padding-left: 2em;">〒791-0295 愛媛県東温市志津川 愛媛大学大学院医学系研究科看護学専攻 日本看護技術学会学会誌編集委員会 佐伯由香宛</p>	<p>-----</p> <p>4. 投稿手続き</p> <p style="text-align: center;">中略</p> <p>3) 投稿時には，<u>原稿とは別に，編集委員長宛の手紙(カバーレター)を添付する(別紙参照)。</u></p> <p>4) 採用（受理）となった原稿は，編集委員会が別途提示する様式で印刷原稿として整え，編集委員長宛に提出する。</p> <p>5) 原稿は封筒の表に「日本看護技術学会誌原稿」と朱書し，下記に書留郵送する。</p> <p style="padding-left: 2em;">〒791-0295 愛媛県東温市志津川 愛媛大学大学院医学系研究科看護学専攻 日本看護技術学会学会誌編集委員会 佐伯由香宛</p>

5. 名誉会員への推薦について

渡邊副理事長より川嶋みどり先生の名誉会員推薦書が提示された。異議なく承認され、評議員会、総会に諮ることとした。名誉会員記念品については他学会を参考にしながら後日作成し、総会で贈呈する。

6. 第 18 回（平成 31 年度）学術集会長の選出

香春知永先生（武蔵野大学）に打診することとした。

7. 評議員会資料／総会資料について

評議員会議事次第の確認を行った。各理事は評議員会資料を後日事務局へ提出することとした。続いて総会資料について審議を行い、今後は印刷資料配布を行わず、スライド投影のみで進行することで合意した。

8. 法人化に向けての準備

検討事項 2 事業計画案で審議した通り、平成 30 年 4 月に一般社団法人へ移行するため、定款確定作業を進める。定款原案が提示され、審議を行い下記確定とした。

- 1) 評議員の定年は満 70 歳とする

- 2) 役員就任時は4月1日現在で70歳未満の者とする
- 3) 事業年度は現在と同じ4月1日から3月31日とする
- 4) 設立時社員は武田理事長、渡邊副理事長とする
- 5) 設立時役員は現役員とする

これをもとに総会前にホームページへ公開し、会員からパブリックコメントを募集する。その他修正がある場合はパブリックコメント募集開始までに事務局へ連絡することとした。

9. 寄付について

武田理事長より川嶋みどり先生、菱沼典子先生からナーシングトゥデイ誌の原稿料、「看護技術の科学と検証第1版」の印税と研究会開催時の参加費4,100,373円を寄付していただけると報告があった。使用用途については継続審議とした。

10. その他

特になし。